



発生動向等サーベイランス情報

インフルエンザにご注意ください！～県内で流行入り～

県内では例年よりも早く流行入りしており、今後さらなる患者数の増加が予想されますので、基本的な感染対策を心がけましょう。

高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど重症化することがありますので、特に注意が必要です。



<感染対策>

○流行前のワクチン接種：

発病後の重症化を防ぐことに一定の効果があるとされています。



○手洗い、アルコール消毒



○適度な湿度の保持
(50～60%)



○換気



○十分な休養と
バランスの取れた栄養



○人混みや繁華街への外出を控える
(外出時はマスク着用)



◀インフルエンザ
(栃木県HP)

感染対策のポイント

シリーズ16:インフルエンザの施設内流行対策とは？

高齢者施設等でのインフルエンザ流行を防止するために、どのようなポイントがあるでしょうか？まずは職員・利用者のインフルエンザワクチン接種率を上げて、施設全体の予防効果を底上げすることが重要です。また、施設周辺でインフルエンザ発生が複数みられるようになったタイミングでは、職員や利用者の健康観察をいつも以上に強化し、インフルエンザを発症した人が見逃されて周囲に拡げることがないように注意しましょう。施設内の流行が起こってしまった場合、状況によって抗インフルエンザ薬による集団予防投与が有効なことがあるため、速やかに医師へ相談しましょう。また抗インフルエンザ薬による治療によって、周囲への伝播リスクを減らせる可能性も報告されていますので、インフルエンザを疑う利用者については、できるだけ早めに医師の診断を受けることをお勧めします。

感染症専門家からのアドバイス



インフルエンザ後肺炎を知っていますか？インフルエンザに引き続いて肺炎球菌やブドウ球菌などの細菌が肺炎を起こす病態で、一般的にはインフルエンザが軽快する頃に発熱や咳などの症状で発症します。ときに重症化するため、油断できません。インフルエンザが治らない、と思っていたらインフルエンザ後肺炎だった、ということもあるので注意が必要です。